

まちづくりやボランティアなどに参加している
地域活動の担い手をシリーズで紹介します

咲き誇る桜に春を感じながら、元気に歩きました。



さくら並木は地域の宝

〜日本一の桜並木を目指して〜

地域の思いを形に

北区には、自然や歴史、伝統文化など地域の魅力を象徴するものがたくさんあります。

今日は、自分たちで作った桜並木を地域のシンボルとして、これにまつわる事業を行いながら、まちを盛り上げている新川地区の活動を紹介します。

「何もないところから始まりました。まさにゼロからの挑戦でしたね」と話すのは、新川連合町内会の会長で、新川地区緑化推進協議会会長も務める長島光治さん。

同地区では、地域を流れる新川にシンボルをと、住民たちの手で長さ日本一（全長一〇・五キロメートル（手稲区側を含む））の「新川さくら並木」を作りました。当初は、5年で作る計画でしたが、住民の熱意と予想を超える支援で、3年でできました。たと長島会長は目を細めます。完成した桜並木は、国土交通大臣表彰をはじめ、これまで数々の賞を受賞しています。

桜並木とともに

並木の完成を記念して始めたウォーキング大会も節目の10回を迎えました。「自分たちで植えた桜を眺めながら歩くのは、



長島会長(左から二人目)



美しい歌声が春を呼ぶ音楽祭

気持ちがいいです」と笑顔で話す参加者たち。毎年、大会前には、地域を挙げて並木周辺の清掃を行っています。また、同時に始めた音楽祭(当初は合唱祭)も並木の成長とともに、大きなイベントになりました。最後には、住民が地域への思いを込めて作った「新川さくら並木のうた」を全員で合唱しています。「桜並木は地域の宝ですね。桜がつかぐ住民の輪を大事にしていきたいです」と力を込める長島会長。地域の思いが詰まった桜並木を、これからも守り続けていきます。

〜新川さくら並木の歩み〜

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 昭和62年 | 新川堤防に桜並木を計画 |
| 平成元年6月 | 新川地区緑化推進協議会発足 |
| 平成9年8月 | 新川連合町内会役員会で桜並木造成事業の推進を決議 |
| 平成10年4月 | 第1期植樹祭、97本の若木を植樹 |
| 平成11年4月 | 第2期植樹祭、520本の若木を植樹 |
| 平成12年4月 | 第3期植樹祭、138本の若木を植樹、日本一長い「新川さくら並木」が完成 |
| 平成13年4月 | 「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞 |
| 平成13年5月 | 桜並木完成記念事業として「合唱祭」「ウォーキング大会」を実施 |



地域の象徴に関心を持つことは、地域の魅力を知ると同時に、まちへの愛着と誇りを生み、さらに良くなっていくという気持ちにつながります。

みなさん、この夏はもう一度自分のまちを見つめて、地域の魅力に触れてみませんか。